

# 「学校のきまりを教えよう」6 学年

( 基本的な生活習慣の形成 )

## 1. 題材について

高学年の時期には、様々な場面で学校をリードしていく活動が増えてくる。安全な生活態度の形成という点でも他学年の手本としての意識が必要とされてくる。

そこで学校のきまり(約束)を低学年に教えることで、自分たちも高学年としての自覚をもち、自分の生活態度を見直すことができるのではないかと考え、本題材を設定した。

## 2. 活動の実際

### ( 1 ) 事前の活動

1 年生のクラスから学校のきまりについてのアンケートがきていることを知る。

( 朝の会 )

### ( 2 ) 本時の活動

ねらい

学校生活でのきまりの大切さや自分の生活態度を見直し、進んで教えようとする。

展開

	児童の活動	評価 ( ) と支援 ( )	資料
導 入	1. 学校きまりの大切さや自分の生活態度を見直し、進んで教えようとする。	自分の経験を出し合ったり、自分の生活を振り返ったり ( 活動の関心・意欲 問題気付き )	学校のきまり
展 開	2. 学校のきまりを低学年に教える活動	話し合いを深めるためにより具体的な場面を提示する  学校のきまりの大切さを低学年を意識している ( 集団の一員としての思考・判断 )	

終 末	3. アンケートに記入する	なまが大切なの自分の考えを低学年実践に向け 励むように記入することを伝える	アンケート
--------	---------------	--	-------

(3) 事後の活動

- ・自分や低学年がめぐる実践よるめり返る (朝・帰りの会)

3. 資料

- (1) 児童の意識を高めるための資料・(3) 実践への意欲づけのための資料

- (2) ねらいを焦点化するための資料

- ・各学校の「学校のやくそく」掲示物

4. 備考

活動への意欲を高めるために、児童の実態に応じたアンケート内容を考える必要がある。